

4月30日 SKIPシティ映像ホールで恋愛映画の特集。 『1秒先の彼女』『恋は光』無料上映&ゲストを招いてのトークショーを開催。

埼玉県は、2023年4月30日（日）にSKIPシティ映像ホール（川口市）で無料映画上映会を開催します。映画をご覧になった方が今までよりも“映画をもっと好きになる”ような上映会にするため、“誰もが知っているようなメジャーな作品ではないかもしれないけれども、ぜひ鑑賞して欲しい作品”を選定すべく、映画を語るWEB番組「活弁シネマ倶楽部」の森直人氏（映画評論家）、徐昊辰氏（映画ジャーナリスト）におすすめの映画6作品を紹介していただきました。（両氏による作品選定会議をSKIPシティチャンネルにて配信）

ご紹介いただいた作品の中から上映するのは、『熱帯魚』『ラブ ゴーゴー』のチェン・ユーシュン監督が、台湾アカデミー賞（金馬奨）最多5部門受賞をしたラブストーリー『1秒先の彼女』（2020年）と第44回ヨコハマ映画祭で作品賞、監督賞、最優秀新人賞（西野七瀬、神尾楓珠、平祐奈、馬場ふみか）の3冠を獲得した小林啓一監督の「恋は光」（2022年）の2作品です。

SKIPシティ映像ホールの大きなスクリーンで迫力ある映像と臨場感のある音響でご鑑賞ください。
『1秒先の彼女』の上映後には作品選定にご協力いただいた森氏、徐氏をお招きしてのトークショーを開催します。

■ 【映画をもっと好きになる】SKIPシティゴールデンウィーク無料上映会&トークショー

10:00～ 開場
10:30～12:29 映画上映『1秒先の彼女』（119分）
12:30～13:00 トークショー
13:00～14:00 入替
14:00～ 開場
14:30～16:21 映画上映『恋は光』（111分）



© MandarinVision Co, Ltd

日時： 2023年4月30日（日）
（「1秒先の彼女」上映&トークショー）10:30（開場10:00）
（「恋は光」上映）14:30（開場14:00）

会場： SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ 4階 映像ホール

料金： 無料

申込： 【事前申込】オンラインのみ/全席指定/先着順
※申込期間：4月4日(火)10:00～4月29日(土)23:59
【当日申込】若干数受付予定

定員： 各回300名

お問合せ： 048-265-2591（彩の国ビジュアルプラザ/平日9:30～17:30）

H P： <http://www.skipcity.jp/hall>

SKIPシティチャンネル： <https://www.youtube.com/user/skipcitychannel>



©秋★枝/集英社・2022 映画「恋は光」製作委員会

お問合せ・ご取材：株式会社デジタルSKIPステーション 広報：青木
Tel：048-264-7777 Eメール：info@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。
※すべてのイベントは予告なく変更または中止となる場合がございますのでご了承ください。

【映画をもっと好きになる】SKIPシティゴールデンウィーク無料上映会&トークショー

■上映作品

『1秒先の彼女』（2020年／台湾／中国語／字幕／119分）

監督・脚本：チェン・ユーシェン（陳玉勳）

出演：リウ・グァンティン（劉冠廷）／リー・ペイユ（李霈瑜）／ダンカン・チョウ（周群達）／ヘイ・ジャアジャア（黒嘉嘉）

「熱帯魚」「ラブゴーゴー」で“台湾ニューシネマの異端児”として注目を集めたチェン・ユーシェンが監督・脚本を手がけ、2020年・第57回金馬奨で作品賞を含む5部門に輝いたファンタジックなラブストーリー。郵便局で働くシャオチーは、何をしてもワンテンポ早く、仕事も恋も冴えない独身女性。そんな彼女の元へ、バス運転手グアタイが手紙を出すため毎日訪れていた。ある日、公園で出会ったダンス講師ウェンセンにバレンタインデートに誘われるが、当日の朝に目覚めるとなぜかバレンタインの翌日だった。街の写真屋に飾られていた見覚えのない自分の写真と“038”と書かれた私書箱の鍵をヒントに、消えたバレンタインの謎を追う。

『恋は光』（2022年／日本／111分）

監督・脚本：小林啓一 原作：秋★枝

出演：神尾楓珠／西野七瀬／平祐奈／馬場ふみか

集英社「ウルトラジャンプ」で連載された「秋★枝」の同名コミックの実写映画化で、「恋をしている女性が光って見える」という特異体質の大学生・西条は、自身は恋愛とは無縁の学生生活を送っていた。ある日、彼は「恋というものを知りたい」という文学少女・東雲に一目ぼれし、恋の定義について語り合う交換日記を始める。西条にずっと片思いしてきた幼なじみの北代は、そんな2人の様子に心をざわつかせる。一方、恋人がいる男性ばかり好きになってしまう宿木は、西条を北代の彼氏だと思い込んで猛アプローチ。4人は奇妙な四角関係に陥っていく。第44回ヨコハマ映画祭で作品賞、監督賞、最優秀新人賞（西野七瀬、神尾楓珠、平祐奈、馬場ふみか）の3冠を獲得した。



© MandarinVision Co, Ltd



©秋★枝／集英社・2022 映画「恋は光」製作委員会

■トークショーゲスト 活弁シネマ倶楽部

森 直人（もり・なおと）

1971年、和歌山市生まれ。映画評論家、ライター。

「週刊文春」「朝日新聞」「キネマ旬報」「Numero TOKYO」「シネマトゥデイ」など雑誌、新聞、Web、パンフレットを中心に執筆。YouTubeチャンネル「活弁シネマ倶楽部」MC担当。

著書に『シネマ・ガレージ～廃墟のなかの子供たち～』（フィルムアート社）。編著に『21世紀／シネマX』『シネ・アーティスト伝説』『日本発 映画ゼロ世代』（フィルムアート社）『ゼロ年代プラスの映画』（河出書房新社）など。



徐 昊辰（じょ・こうしん）

映画ジャーナリスト。

1988年中国・上海生まれ、2007年来日、立命館大学卒業。

2008年から中国の映画専門誌「看电影」「電影世界」、ポータルサイトSINA、SOHUなどで、日本映画の批評と産業分析を続々発表。2016年には、北京電影学院に論文「ゼロ年代の日本映画～平穏な変革～」を発表。中国最大のSNS、微博（ウェイボー）のフォロワー数は約280万人。毎日、日本映画の情報や分析を発信中。映画.COMコラム「どうなってるの？中国映画市場」連載中。

上海国際映画祭プログラミング・アドバイザー
WEB番組「活弁シネマ倶楽部」の企画・プロデューサー
日本映画プロフェッショナル大賞選考委員
微博公認・映画評論家、年間大賞選考委員



お問合せ・ご取材：株式会社デジタルSKIPステーション 広報：青木
Tel：048-264-7777 Eメール：info@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。
※すべてのイベントは予告なく変更または中止となる場合がございますのでご了承ください。